

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

秋吉台 今季最強・最長の寒波がやって来た！！

2月に入ってから間もなく、今季最強、最長といわれる寒波がやって来ました。その名のとおり雪が5日間にわたって降り積もり、深いところでは24cmほどに達しました。気温もマイナス8度のときもありました。そのため16日に予定されていた山焼きが22日に延期となりましたが、その後も積雪があり、3月1日に延期となりました。山焼きは秋吉台の1年の区切りです。山焼きが無事に終わらなければ、秋吉台の1年が始まらない気がします。
(写真は2002年頃の北山のようなようです)



季節の花 春は名のための秋吉台

アセビ ツツジ科の常緑低木。2月頃、雪にまみれて咲いていることもあり、健気に思います。花には独特の香りがあり、近くを通っただけでもそれと気が付きます。

オオイヌノフグリ 田畑や荒地などどこにでも生えるオオバコ科の越年草。花は青色で1cmにも満たない小さくて可愛い花ですが、油断するとプランターの中にも入って来る厄介ものです。甘やかしてはいけません。

フキ 土手などに生えるキク科の多年草。ツボミはフキノトウといわれ、早春の味覚です。ちょっとほろ苦いところが美味なのです。花は雌雄異株で花茎を伸ばして白い花を咲かせます。



チョロギガヤ 掘り返された根茎を見て「なるほどネ」

植物調査に参加しました。背丈以上もあるササやセイタカアワダチソウの林をかき分けて行くと、少し開けたところがあり、そこは一面イノシシに掘り返されて穴だらけでした。こんなところに餌になるものがあるのだろうかとおつぶやいていたら、松井さんが「これを食べていたんじゃろ」と見せていただいたのがチョロギガヤの根茎でした。それはイネ科の植物で、この時期は地上部はなく、掘り返された所に根茎がたくさんあるのに気が付きました。初めて見るものでしたが、なるほどチョロギにそっくりです。ピッタリ名前です。



カヤネズミの球巣 ススキの林の中にチラホラ

枯れたススキの林の中で枯れ草が野球ボールくらいの球状になっているものを見つけました。カヤネズミの球巣です。すでに抜けがらになっていましたが、見かけるのは久々です。比較的珍しいものですが、ここでは3個見つかりました。カヤネズミは指ほどの大きさで、実に可愛いのですが、草の陰に隠れてなかなか写真を撮らせてもらえません。いつか撮りたいものです。ちなみにカヤネズミは当館のマスコットキャラクターです。



アサガオ、ヒマワリ、夏の花を育てましょう

去年育てた花から採ったタネをお分けします。種類はアサガオとヒマワリです。アサガオは「江戸朝顔 轟(とどろき)」から採種、ヒマワリは大輪咲きのものから採種したものです。どちらも夏の代表的な花で、観察日記の定番でもあります。また猛暑の日よけにしてみてもいかがでしょう。アサガオ120袋、ヒマワリ100袋を用意。ご来館の方に無料でお分けします。



3月の行事



(日時は秋吉台山焼き後に予定しております。)

「秋吉台の歴史見学」

往時の秋吉台大田演習場の塹壕の跡などを見学しましょう。